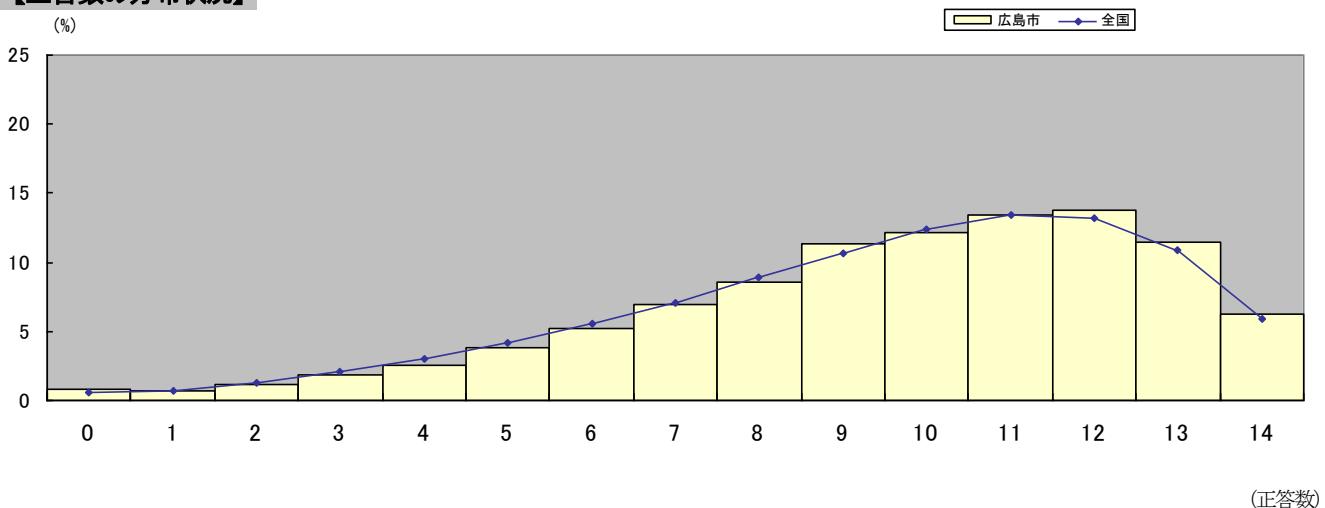


2 各教科の調査結果の分析及び考察

【小学校国語】

国語

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の内容ごとの定着状況】

学習指導要領の内容		平均正答率(%)	
		全国	広島市
教科全体		67.7	69
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に 関する事項	64.4	65.1
	情報の扱い方に関する 事項	86.9	88.7
	我が国の言語文化に関 する事項	74.6	74.0
思考力、判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	59.8	61.6
	書くこと	68.4	69.7
	読むこと	70.7	71.2

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	69.8	70.5
思考・判断・表現	66.0	67.2

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	69.9	71.0
短答式	59.7	60.4
記述式	64.6	64.8

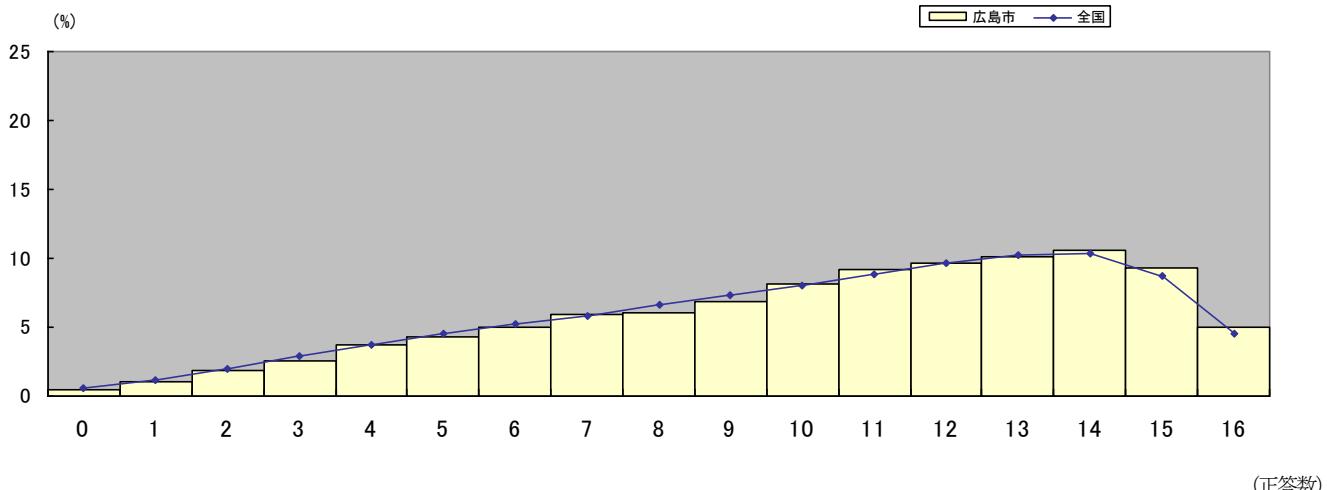
定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 知識及び技能「言葉の特徴や使い方に
関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に
関する事項」については、平均正答率がそれぞれ 65.1%、88.7%、74.0%で、学習内容はおおむね定着し
ていると見られる。
- ◆ 思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」については、平均正答率が
それぞれ 61.6%、69.7%、71.2%で、学習内容はおおむね定着していると見られるが、目的や意図に応じて、
事実や感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること（正答率
57.8%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現とともに全国平均をやや上回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国平均をやや上回っている。

【小学校算数】

算数

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の領域ごとの定着状況】

学習指導要領の領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	63.4	64
数と計算	66.0	66.9
図形	66.3	68.1
変化と関係	51.7	51.4
データの活用	61.8	63.0

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	72.8	73.2
思考・判断・表現	51.4	52.8

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	75.3	76.2
短答式	62.0	62.7
記述式	51.0	52.2

定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 「数と計算」、「図形」、「データの活用」については、平均正答率がそれぞれ 66.9%、68.1%、63.0%で、学習内容はおおむね定着していると見られるが、球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと（正答率 38.4%）には課題がある。
- ◆ 「変化と関係」については、平均正答率が 51.4%であり、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること（正答率 30.6%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや上回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国平均をやや上回っている。